

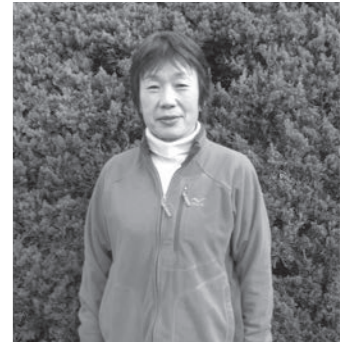
人権擁護委員が委嘱されました

平成26年1月1日付で、法務大臣から榎田千鶴子さんが人権擁護委員に委嘱されました。任期は平成28年12月31日までです。

人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害による被害者の救済をしたり、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行っており、現在宇美町では、4人の人権擁護委員が活動しています。

暮らしの中での悩みや心配ごと、困りごとがある方は、是非、お近くの人権擁護委員にご相談ください。相談は無料で、相談内容の秘密は固く守られます。相談をご希望の方は、お近くの法務局にお問い合わせください。

●問い合わせ 福岡法務局人権擁護部 ☎832-4311



人権擁護委員に委嘱された榎田千鶴子さん

一日人権擁護委員の委嘱・街頭啓発を行いました

国連は、世界人権宣言採択を記念して、採択日の12月10日を「人権デー(Human Rights Day)」と定めています。福岡県人権擁護委員連合会及び福岡法務局では、「人権デー」を最終日とする一週間(12月4日から10日まで)を「人権週間」と定め、人権意識の普及高揚を図るため様々な啓発行事を行っており、本町ではその一環として、町立中学校3校の生徒会役員の皆さんを一日人権擁護委員に任命し、中学生の人権意識の高揚を図るとともに、街頭啓発により広く町民に呼びかけることを目的として、例年12月初旬に街頭啓発活動を行っています。

12月2日(月)、町内3中学校の生徒会役員の皆さん14名は、宇美町役場で福岡法務局人権擁護部第一課長から委嘱状を手渡され、宇美町人権擁護委員の河野壽さんから人権についての話を聞き知識を深めた後、互いに助け合いながらJR宇美駅前広場を中心に街頭啓発を行いました。参加した中学生は「思いやりの心を持って他人に接するように心がけていきたい」と感想を話していました。



一日人権擁護委員として活躍した中学生と町の人権擁護委員

「第1回宇美町都市計画マスタープラン策定委員会」が開催されました

11月29日(金)に、学識経験者、関係行政機関の職員、宇美町都市計画審議会の委員、政策調整監の職にある町職員による、第1回宇美町都市計画マスタープラン策定委員会が開催されました。これは、都市計画法の規定に基づく本町の「都市計画に関する基本的な方針(都市計画マスタープラン)」を策定するに当たり、公正かつ専門的な意見を踏まえ、総合的かつ体系的な計画づくりを行うために開催されたものです。

今後4回の策定委員会や、住民ワークショップ、パブリックコメントを行い、平成27年3月に都市計画マスタープランを策定します。



第1回宇美町都市計画マスタープラン策定委員会の様子

韓国扶餘教育支援庁から視察団が来町しました

11月18日(月)から20日(水)の期間で、大韓民国扶餘教育支援庁から平成26年度実施予定の「サピ少年団訪問」事業の事前視察のため、李乙鏞(イウリョン)教育長をはじめ7名の扶餘教育支援庁関係者が宇美町を訪問されました。

歓迎式典では、宇美町と扶餘郡の学生相互交流に多大な貢献をされた池田隆前宇美町教育長と金泰正(キムテジョン)前扶餘教育長に感謝状を、現教育長での代理となりましたが、相互授与が行われました。

式典終了後には、宇美小学校を訪問し、児童による「アリラン」の合唱や、クラブ活動での茶道などを体験されました。

来年度は大韓民国扶餘郡から子どもたちが宇美町の家庭でホームステイ交流を行う「サピ少年団」招請事業が予定されています。



感謝状を受け取る山本教育長



宇美小の「第16回宇美町少年の翼」団員と扶餘教育支援庁訪問団

宇美商業高等学校・西村フーズ・宇美小学校の コラボ企画給食を楽しみました

12月16日(月)に、宇美小学校において西村フーズと福岡県立宇美商業高校が共同開発した『豆乳入り蒟蒻「ソイチッチ」』を使った、コラボ企画給食が出されました。これは、宇美町でできたものを宇美町で食べる地産地消型給食を目指して企画されたもので、当日は、宇美商業の生徒と西村フーズの開発担当職員の方が宇美小学校に招待され給食会食会が行われました。6年生と会食会を行った宇美商業の生徒は、手作りで作成したレシピ集を配布し、ソイチッチをPRしていました。

今回の給食では、しぐれ煮として出されたソイチッチをおいしく食べ、会話も弾む楽しい給食会食会となりました。



高校生も一緒に、宇美町でできたものをかみしめて食べていました

巨樹と樹洞のある巨大なクスノキの森を守ろう ～トトロのおうち体験・保全プロジェクト～が開催されました

12月7日(土)に、宇美八幡宮において巨樹と樹洞のある巨大なクスノキを守ろう～トトロのおうち体験・保全プロジェクト～が開催されました。これは、トトロのおうちに似ている畳8畳ほどの広さの大きな樹洞がある、宇美八幡宮の湯蓋の森のクスノキを守り、そこから地球環境を考えようと、巨樹・樹洞保全協議会が主催して行われ、町内を中心に、大人・子どもあわせて80名以上が参加しました。

普段は入ることができない樹洞の中に入った参加者は、その広さと樹のいい香りに驚いていました。また、樹洞の中では尺八と草笛によるコラボレーションで、もののけ姫のテーマが演奏され、幻想的な空間に参加者は酔いしれていました。



樹洞の広さにおどろく子ども達

明治バイソン優勝! 第11回福岡粕屋フェニックス杯争奪ソフトボール大会

12月8日(日)に、第11回福岡粕屋フェニックス杯争奪ソフトボール大会が粕屋町中央スポーツ公園で開催され、明治バイソンが初出場で初優勝しました。

副主将の里 汐音さん(原田小6年)は、『この試合は6年生にとって最後の試合でした。今年のチームは、優勝の回数が多くはなかったけど、最後の大会で優勝できました。この優勝というのは私たち6年生にとって貴重な体験だったと思います。優勝できて本当にうれしかったです。』と語ってくれました。



チーム一丸となって戦い、最後の大会で見事優勝を勝ち取った明治バイソンの選手たち

同窓会から宇美中学校へ寄附金が渡されました

12月11日(水)、宇美中学校昭和44年卒業生の橋本さんと安河内さんが宇美中学校の小野賢司校長へ、寄附金を渡されました。

この寄附金は、11月23日に還暦を祝して行われた宇美中学校昭和44年卒業生同窓会で集められたものです。昭和44年の卒業生400名のうち、同窓会には約120名と当時の担任の先生も参加され、中には、卒業後45年ぶりの再会となった方もいたそうです。

寄附日には、小野校長先生と共に、中学校に保管されていた卒業アルバムを見ながら談笑され、当時の先生や同級生等の思い出話に花が咲いていました。



小野校長先生は、大切にに使わせていただきますと受け取られていました